

平成30年度 天白区区政運営方針 取組実績

平成30年度天白区区政運営方針に掲げた事業・取組について、その達成状況を4段階で評価しました。平成31年度の事業・取組にこの結果を活かし、区民の皆さまとともに、ぬくもりとやすらぎ、そして魅力に満ちた、誰からも愛されるまちをめざして努力します。

◇達成状況

めざすまちの姿	A	B	C	D	計
1 安心して暮らせるまち	4	2	0	0	6
2 すこやかにいきいきと暮らせるまち	8	2	1	0	11
3 魅力に満ちた愛着のもてるまち	9	5	1	0	15
合 計	21	9	2	0	32

□■評価基準■□

- A・・・目標（計画）達成率100%
- B・・・目標（計画）達成率80%以上
- C・・・目標（計画）達成率50%以上
- D・・・目標（計画）達成率50%未満

区政運営方針に対するご意見・ご提案をお寄せください。今後の区政運営に活かしてまいります。

天白区役所区政部企画経理室（区役所3階35番窓口）

〒468-8510 名古屋市天白区島田二丁目201番地 電話：052-807-3953 FAX：052-801-0826

メールアドレス：a8073951@tempaku.city.nagoya.lg.jp <http://www.city.nagoya.jp/tempaku/>

めざすまちの姿 ①安心して暮らせるまち

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
1	災害対策 区本部の 強化	避難所の現地確認を行った避難所 担当職員の割合を 100%にします。 平成 29 年度 93.6% (12 月末時点)	非常配備体制時の区本部事務、避難 所派遣等についての研修を合計 6 回実施しました。また、「職員避難 所担当制」に基づき、コミュニティ センター等避難所の現地訪問を 35 回行い、51 名が参加しました。避難 所の現地確認を行った職員の割 合は 100%となりました。	A
2	地域防災 力の強化	避難所リーダー 養成講座修了者数 670 人にします。 平成 29 年度 594 人	避難所リーダー養成講座を 2 回開 催(7 月 14 日、11 月 10 日)し、訓練 事例や被災地支援での教訓等を踏 まえた避難所運営に係る講習及び 避難所運営模擬体験を実施し、延べ 126 名が参加しました。避難所リー ダー養成講座修了者数は 682 人と なりました。また、避難所リーダー や防災担当者等が地域の情報交換 等を行うことを目的とした防災・減 災交流会を 1 月 19 日に実施し、約 70 名が参加しました。	A
3	地域の自 主防犯活 動の推進	住宅対象侵入 盗・自動車関連窃 盗の被害件数の減 少を目指します。 平成 29 年 ・住宅対象侵入盗 99 件 ・自動車関連窃盗 217 件	平成 30 年中の刑法犯発生件数は前 年と比べ 18.4%減少し、住宅対象 侵入盗 48 件、自動車関連窃盗 92 件と共に大幅に減少しました。	A

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
4	交通安全 啓発活動 の推進	人身事故発生件数の減少・交通事故死亡者数の減少 平成 29 年 ・人身事故発生件数 635 件 ・交通事故死亡者数 1 人	平成 30 年中の人身事故発生件数は 559 件と平成 29 年中の 648 件と比べて 89 件減少しましたが、交通事故死亡者数は 4 名と平成 29 年中の 1 名に比べて 3 名増加しました。	B
5	空家の適切な管理 の推進	特定空家等の解消 平成 29 年度 1 件	所有者等による空家等の適切な管理を推進するため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」に基づき、所有者等への指導・助言を 43 回行いましたが、平成 30 年度末時点で特定空家が 1 件あります。	B
6	食の安全・安心	区内での食中毒事件を発生させません。 平成 29 年度 : 1 件	天白区の施設において食中毒事件は発生しませんでした。	A

めざすまちの姿 ②すこやかにいきいきと暮らせるまち

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
1	妊娠期からの子育て支援	新生児・乳児時期の保健師等による訪問指導を 100% 実施します。 平成 29 年度 98.9%	新生児・乳児期からの育児支援として出生報告ハガキ受理数 1,520 人に対し、天白保健センターで 1,356 人に訪問指導を行ったほか、他区で 25 人、他市町村で 29 人、合計 1,410 人が訪問指導を受けました。(達成率 92.8%)	B
2	関係機関等の連携による子育て支援	保育所等への入所説明会の実施回数：2 回 平成 29 年度 1 回	区内の子育てサロン等へ保育案内人を 29 回派遣したほか、エリア支援保育所と連携し、区内 2 カ所で計 2 回保育所等の入所説明会を実施しました。(37 組 74 名参加)	A
3	児童虐待の防止	児童虐待による重大な被害の根絶を目指します。 平成 29 年度：0 件	・5 月と 11 月の児童虐待防止推進月間(オレンジリボンキャンペーン)に合わせて、子育てに悩む親向けの講座として「コモンセンス・ペアレンティング講座」、「スター・ペアレンティング講座」及び「子育て講演会」を実施して養育支援に取り組みました。さらに、2 月にも「スター・ペアレンティング講座」を実施しました。 ・これらの取り組みにより、子育て中の保護者の不安をやわらげ、児童虐待による重大な被害の発生を防ぐことができました。	A

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
4	青少年健全育成の推進	区内中学・高校に対するネット犯罪防止啓発キャンペーン実施数：3校 (平成29年度：2校)	区内中学校 3 校にて、夏休み直前の生徒にインターネットを介した犯罪事例を周知・注意喚起するキャンペーンを部会員等と実施しました。また、区内全中学生に注意喚起のチラシを配布しました。	A
5	障害者自立支援活動の推進	障害者福祉などに関する行事・研修会開催数：年 7 回 (平成29年度：6回)	障害福祉などに関する行事・研修会を 8 回開催しました。(福祉と映画の集い、研修会 3 回、顔の見えるアート展てんぱく 2018、各種イベントのステージ企画参加 3 回)	A
6	障害者授産活動の支援	移動販売車「マーガレット号」による出張販売回数：年 26 回 (平成29年度：年 26 回)	障害者自立支援連絡協議会が呼びかけを行い、区内の障害福祉事業所が参加し、授産製品の移動販売(出張マーガレットマルシェ)を実施しました。(34 回)	A

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
7	高齢者が地域で安心して暮らすための支援	みんなの元気フェスタ in てんぱくの参加者数 1,000 人 平成 29 年度 960 人	新たに東海学園大学を実行委員に加えて「みんなの元気フェスタ in てんぱく」を開催しました。(11 月 16 日、17 日 参加者 1,013 名)。	A
8	認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進	認知症サポーターが参加する認知症カフェ：7 か所 平成 29 年度 6 か所	「認知症カフェ」の設置を支援しました（合計 16 か所 内⑩新設 3 か所：植田北・原・天白学区）。うち、11 か所でサポーターが参加しました。	A
9	高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	「てんぱく健康づくり隊」の活動拠点 3 か所 平成 29 年度 1 か所 (天白公園))	身近な場所で誰でも気軽に健康づくりができるよう、地域における高齢者の健康づくり活動を推進する「てんぱく健康づくり隊」の育成を図るため、4 か所の拠点を設けて勉強会や会議を開催しました。(登録者数：21 名)	A
10	「てんてんプラン 2014」(第 3 次地域福祉活動計画)の推進と次期計画の策定	学区地域福祉活動計画の新規策定： 1 学区 平成 29 年度 1 学区	天白学区において地域福祉活動計画の策定を進め内容を固めました。が、年度内の策定には至りませんでした。今年度の早い時期には計画を策定できる見込みです。	B

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
11	健康づくり活動の 推進	健康づくりセミナーの参加者 300 人 平成 29 年度 160 人	天白文化小劇場で開催した 健康づくりセミナー では、 210 人が来場しました 。目標（300 名）の 7 割の来場者でしたが、来場者の 9 割以上の方が「満足できた・ほぼ満足できた」と回答されたほか、「健康づくりのきっかけとなった」と回答された方が 8 割を超えました。	C

めざすまちの姿 ③魅力に満ちた愛着のもてるまち

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
1	町を美しくする活動の推進	空地をきれいにする運動の適正管理率：85% 平成 29 年度 82.4% (102 筆中 84 筆が適正管理 済)	空地をきれいにする運動では約 74% (96 筆の内、71 筆) の空地が適正管理となりました。	B
2	ペットと暮らすきれいなまちづくり活動	ペットのマナー良 くし隊キャンペー ン実施学区数：5 学区 平成 29 年度 5 学区	地域の皆様と協力してペットのマナーよくし隊キャンペーンを 5 学区で実施し、382 名の方に対してペットのマナー啓発を行いました。 (延 47 名参加)	A
3	環 境 教 育・環 境 学 習	環境保全講習会及 び水辺の生き物観 察教室の参加者の 満足度：前年比増 平成 29 年度 98.4%	環境保全講習会において、参加者へのアンケート調査の結果、100%の参加者の方から内容について「良かった」の回答をいただき、昨年度と同様に多くの参加者の方に満足していただくことができました。	A
4	地産地消 （「農」の ある暮らし）の推 進	地産地消スタンプ ラリーの応募者 数：前年比増 平成 29 年度 210 人	「地産地消スタンプラリー」を実施して、地産地消の推進に努めました。応募者数は 135 名でした。	C

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
5	天白の魅力発信 (自然・歴史)	事業の参加者アンケートでの満足度を高めます。 平成 29 年度 「天白・自然とふれあい隊！」 92.8% 「史跡散策ウォーキング」 96.4%	「天白・もりのフォーラム」との協働事業として、天白・自然とふれあい隊！（自然観察会・自然体験会）を実施し、102 人にご参加いただきました。参加者アンケートのうち、参加してよかったと回答した方の割合は 100%でした。 「天白ガイドボランティア歴遊会」との協働事業として、史跡散策ウォーキングを春・秋の 2 回実施し 46 人の参加がありました。参加者アンケートのうち、参加してよかったと回答した方の割合は 97.5%でした。	A
6	文化・スポーツの推進	「スポーツ活動が盛んである」と感じている区民の割合：前年比増 平成 29 年度 45.2%	平成 30 年度天白区区民アンケートにおいて、「スポーツ活動が盛んである」と感じている区民の割合は、46.2%（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計）となり、平成 29 年度の 45.2%より割合を高めることができました。	A
7	町内会加入促進への支援	町内会加入率：前回調査比増 平成 28 年度 58.5%	【町内会加入率】 57.0%（平成 30 年 4 月 1 日時点） ※2 年ごとの調査	A

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
8	地 域 活 動・市民 活動への 支援	「地域活動・市民 活動が盛んであ る」と感じている 区民の割合 ：前年比増 平成 29 年度 48.5%	「地域活動・市民活動が盛んであ る」と感じている区民の割合は 50%となりました。	A
9	区民に信 頼される 区役所づ くり	窓口アンケートに おける「満足度」 100%を目指しま す。 平成 29 年度 99.1%	区役所窓口アンケートにおける満 足度（「とても満足」「満足」の合計） は、96.5%となりました。（市全体 97.1% 天白区前年度 99.1%）	B
10	区民のニ ーズや地 域課題の 把握	区民アンケートの 回答率：前年比増 平成 29 年度 42.5%	無作為抽出による 18 歳以上の男 女 1,000 人を対象とした区民アン ケートを実施しましたが、回答率は 42.5%から 39.8%へと低下しまし た。	B

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
11	区政に関する 広報・情報 提供	「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合 ：前年比増 平成 29 年度 32.2%	「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合は 37.5%となりました。	A
12	天白区の P R 活動	「かぼっち」を知っている・名前を聞いたことがあるという区民の割合：50.0% 平成 29 年度 ：40.9%	「かぼっち」を知っている・名前を聞いたことがあるという区民の割合は 47.3%となりました。	B
13	地域の大学との 連携・協力	大学との連携・協力協定の新規締結：1 件	6 月 21 日に豊田工業大学と新たに連携・協力協定を締結しました。	A

項 目		指 標	取組の成果	目標 達成状況
14	天白区セイロン瓜プロジェクト	区内公共施設・学校等のセイロン瓜栽培数：20 か所 平成 29 年度：20 か所	・ 小学校 2 校において名城大学のクマーラ教授による特別授業を実施するとともに、3 校でセイロン瓜による緑のカーテンづくりを行いました。 ・ 区役所で緑のカーテンづくりを進めるとともに、警察署、消防署、コミュニティセンターをはじめとする区内公共施設等 14 か所にセイロン瓜の苗を提供し、その育成支援を通じてセイロン瓜の P R を行いました。	B
15	公園の魅力づくり	「公園は安心して利用できて緑が豊かなど魅力的である」と感じている区民の割合：70%	区民アンケートにおいて「公園は安心して利用できて緑が豊かなど魅力的である」と感じている区民の割合が 93.4%という結果を得ました。	A

平成30年度の取組計画と成果

めざすまちの姿 ①安心して暮らせるまち

平成30年度の取組計画	取組の成果
1 災害対策区本部の強化（総務課・健康安全課）	
◆職員防災研修等の実施 ◇区内防災関係公所（署）との連携強化 ◇医療救護所訓練の実施 ◇災害用備蓄物資の増量 【指標】 避難所の現地確認を行った避難所担当職員の割合を100%にします。（平成29年度：93.6%（平成29年12月末時点））	・非常配備体制時の区本部事務、避難所派遣等についての研修を合計6回実施しました。また、「職員避難所担当制」に基づき、コミュニティセンター等避難所の現地訪問を35回行い、51名が参加しました。避難所の現地確認を行った職員の割合は100%となりました。 ・風水害発生時の区本部を想定した災害対応図上訓練を3月11日に実施しました。 ・区内公所防災担当者会議として、平常時・災害時の連携についての打合わせ等を合計14回行いました。 ・天白区内で土砂災害の危険性が予想されている箇所について、土砂災害危険箇所等防災パトロールを6月8日に実施しました。 ・平針中学校で医療救護所訓練（医師会主催）を連携して実施し、医師会関係者や地域住民など約150名が参加しました。 ・2月に区内全避難所（45カ所）において、小中学校で2日分、それ以外の避難所で1日分の非常食を、また毛布、段ボールベッド等の備蓄物資を増量しました。
2 地域防災力の強化（総務課・消防署・土木事務所・保健予防課）	
◇地域の災害対策の支援 ◆避難所リーダー養成講座、防災・減災交流会の開催 ◇総合水防訓練、総合防災訓練の実施 ◇中学生向け防災学習の実施 ◇家具転倒防止ボランティアの養成 ◇自助力向上の促進 ◇自主防災リーダーの養成 ◇水防講習会の実施 ◇災害時の健康管理、食の備えについての健康教育の実施 【指標】 避難所リーダー養成講座修了者数670人にします。（平成29年度：594人）	・各学区の避難所リーダー等による企画や自主防災訓練等の中で、合計13回指定避難所開設・運営訓練が実施され、その支援等を行いました。 ・地域避難行動計画策定支援事業として、原学区と相生学区について、学区での打合せやまち歩きを通して、避難行動マップの策定を支援しました。（原学区3回、相生学区4回） ・野並学区において、助け合いの仕組みづくりの取り組みを実施（概要説明7回）し、学区に避難行動要支援者名簿の提供を行いました。また、野並学区避難所開設訓練にて、避難行動要支援者へ実際に声掛けを行う安否確認訓練を実施しました。（3月3日） ・避難所リーダー養成講座を2回開催（7月14日、11月10日）し、訓練事例や被災地支援での教訓等を踏まえた避難所運営に係る講習及び避難所運営模擬体験を実施し、延べ126名が参加しました。避難所リーダー養成講座修了者数は682人となりました。また、避難所リーダーや防災担当者等が地域の情報交換等を行うことを目的とした防災・減災交流会を1月19日に実施し、約70名が参加しました。 ・災害時に地域での役割が期待される中学生に対し、中学生向け防災学習を2校で実施しました。（植田中学校（生徒対象 6月5日 約300名）、天白中学校（生徒対象 6月14日、10月11日 約426名）） ・区内2公園の水防用土のうを更新するとともに、簡易水防工法の講習会を行いました。（延べ112名参加） ・自力で家具の転倒防止が困難な世帯に対し天白区家具転倒防止ボランティアを派遣（12回）することで、大規模地震が起きた際の被害の軽減を図りました。 ・天白区内で実施された自主防災訓練に出向し支援（355回）することで地域における自主防災力の向上を図りました。 ・自主防災リーダー講習及び自主防災リーダー上級講習を実施することで、災害発生時の自主防災組織の中心となる人材を育成しました。 ・保健センター主催の事業（42回）や、各学区で開催した子育てサロン（21回）、高齢者サロン（19回）等で災害に関する健康教育を実施しました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
3 地域の自主防犯活動の推進（地域力推進室）	
◆犯罪発生状況に応じた防犯対策の実施 ◆特殊詐欺防止対策の実施 ◆住宅対象侵入盗防止対策の実施 ◆地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 ◆自動車関連窃盗防止対策の実施 ◆青色防犯パトロールの活動の強化 【指標】 住宅対象侵入盗・自動車関連窃盗の被害件数の減少を目指します。 （平成29年：住宅対象侵入盗 99件、自動車関連窃盗 217件）	・平成30年中の刑法犯発生件数は前年と比べ18.4%減少し、住宅対象侵入盗 48件、自動車関連窃盗 92件と共に大幅に減少しました。 ・地域と連携するなど、年間を通じ計32回の運動を実施しました。 ・まち歩き防犯パトロール講習会を開催し、住宅対象侵入盗対策について実地で学びました。（天白学区38名参加） ・警察、地域の協力を得て防犯講習会を実施しました。（表山学区33名参加） ・昨年度に続き、自動車関連窃盗防止対策として4学区の駐車場に計43枚の防犯プレートを設置しました。 ・10月以降、特殊詐欺多発に伴い、臨時広報や高齢者向け啓発を行いました。 ・年末に区役所で青色防犯パトロール出発式を行いました。（参加者200名）
4 交通安全啓発活動の推進（地域力推進室）	
◆高齢者に対する交通安全啓発 ◆自転車利用マナーの向上呼び掛け ◆地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 ◆新入学児童に対する「かぼっち」反射材キーホルダーの配付 【指標】 人身事故発生件数の減少・交通事故死者数の減少を目指します。 （平成29年：人身事故発生件数 635件、交通事故死者数 1人）	平成30年中の人身事故発生件数は559件と平成29年中の648件と比べて89件減少しましたが、交通事故死者数は4名と平成29年中の1名に比べて3名増加しました。 ・ふれあい給食や健康サロンなどの機会を利用し、高齢者に対して交通安全や反射材着用の重要性について講話を行い、反射材を配布しました。対象人数：延べ495名。 ・5、11月の自転車安全利用促進強調月間中、区内の地下鉄駅と全ての高校で啓発品を配布し、自転車の適正利用を呼びかけました。9学区からの参加者延べ85名を含む171名で実施。 ・地域のまち歩き事業に計14回参加し、交通安全の課題等を把握しました。併せて改善に向けて関係機関への通報や情報提供を行いました。
5 空家の適切な管理の推進（地域力推進室）	
◆空家の適切な管理についての啓発 ◆空家等対策の実施 ◇地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 【指標】 特定空家等の解消を目指します。 （平成29年度：1件）	・所有者等による空家等の適切な管理を推進するため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び「名古屋市長空家等対策の推進に関する条例」に基づき、所有者等への指導・助言を43回行いましたが、平成30年度末時点で特定空家が1件あります。 ・区内関係公署（所）による天白空家等対策会議を1回（7月）、プロジェクトチーム会議を2回（11月、3月）開催し、対応を検討しました。 ・地域課題を検証する「みんなでまち歩き」を6学区でのべ10回実施しました。（301名参加）
6 食の安全・安心（健康安全課）	
◆区民への食の安全・安心啓発事業 ◆消費者と事業者の情報・意見交換会の開催 ◆食品関連施設に対する監視指導の実施 【指標】 区内での食中毒事件を発生させません。 （平成29年度：1件）	・年間を通して、市民・食品関連業者に対して各種講習会等を20回、延べ561人に実施して食の安全安心の確保に努めました。 ・食品関連施設への監視指導を2247件（3月末）実施しました。 ・平成30年度、天白区の施設において食中毒事件は発生しませんでした。

めざすまちの姿 ②すこやかにいきいきと暮らせるまち

平成30年度 of 取組計画	取組の成果
1 妊娠期からの子育て支援（保健予防課・民生子ども課）	
◇母子健康手帳発行時の妊婦面接の実施 ◇妊娠期からの子育て支援講座の開催 ◇乳幼児の保護者向けの子育て支援講座の開催 ◇区内産科医療機関との周産期連携事業 ◆新生児・乳児時期からの育児支援 ◇妊産婦及び乳幼児の食育支援の推進 ◇すくすく訪問（赤ちゃん訪問）の実施 ◇すくすくサロン（子育てサロン）の実施 ◇親支援のためのグループミーティング ◇育児不安や困難感を抱えやすい保護者への支援 ◇ブックスタート事業の開催 ◇歯と口の1日健康センターの開催 【指標】 ・新生児・乳児時期の保健師等による訪問指導を100%実施します。 （平成29年度：98.9%）	・母子健康手帳発行時に妊婦面接を実施しました。（1,417件） ・妊娠期からの子育て支援講座として、妊婦とその家族を対象にした講座を開催しました。（計24回、延べ343人参加） ・乳幼児の保護者向けの子育て支援講座を開催しました。（乳児6回、のべ101組参加／幼児5回 延べ59組参加） ・区内の産科医療機関とのハイリスク妊婦・褥婦支援担当者連絡会議を開催（6/20）し、連携を深めました。 ・新生児・乳児期からの育児支援として出生報告ハガキ受理数1,520人に対し、天白保健センターで1,356人に訪問指導を行ったほか、他区で25人、他市町村で29人、合計1,410人が訪問指導を受けました。（達成率 92.8%） ・妊産婦及び乳幼児の食育支援の実施として、離乳食教室・離乳食幼児食相談・幼児食講習会・プレママクッキングを実施しました。（計45回、208人参加） ・主任児童委員や児童委員が全学区内の第1子誕生のご家庭を概ね3ヶ月後に訪問し、子育て情報冊子の配布や、すくすくサロンの情報提供等を行い、子育ての支援を行うすくすく訪問（赤ちゃん訪問）を実施しました。（達成率96.6%） ・主任児童委員や児童委員が中心となり、概ね0歳から3歳までの乳幼児を持つ親子の身近な地域での子育て仲間づくりの場となるように、手遊びや保健師の育児相談など、工夫をこらし、全学区で開催しました。 ・育児困難感を持つ保護者を支援するため、多胎児・障害児を持つ保護者の交流会や、発達障害の特性及び障害児を持つ保護者対象の講演会を計9回開催し、延べ120組が参加しました。 ・ブックスタート事業として、3か月児健康診査の機会に、絵本の読み聞かせの実演を行うほか1,442冊の絵本をプレゼントしました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
2 関係機関等の連携による子育て支援（民生子ども課・社会福祉協議会・児童館・消防署）	
◇天白おやこ子育て広場の開催 ◇子育て支援者交流会の開催 ◇児童館における子育て支援 ◇子どもに対する地域の取り組み支援 ◆子育て支援情報の提供 ◇天白区子ども・子育てお役立ち便利帳の発行 ◇中学生の学習支援事業協力 【指標】 保育所等への入所説明会の実施回数：2回 （平成29年度：1回）	・様々な理由で勉強が遅れがちな子どもを対象に、地域団体が中心となって実施している学習サポート事業を支援しました。（区内2学区で実施 平針南学区3名・原学区6名） ・地域で子育て支援活動をしている団体が参加して「子育て支援者交流会」を実施し、関係者間の交流を促進し、意見交換、連携強化に取り組 みました。（34名参加） ・「天白おやこ子育て広場」を実施して、子育て中の親子が広く子育て情報を収集するとともに、地域で仲間づくりができる交流の場を設定しま した。（335組参加） ・「天白区子ども・子育てお役立ち便利帳」を3,000冊発行したほか、子育てに関する情報等を1か所で閲覧できるよう区役所内に子育て情報 コーナー「かぼっち広場」を設置し、子育てしやすい環境整備に取り組みました。 ○区内の子育てサロン等へ保育案内人を29回派遣したほか、エリア支援保育所と連携し、区内2カ所で計2回保育所等の入所説明会を実施し ました。（37組74名参加） ・天白消防署講堂を地域中学生に対する学習支援事業（毎週2回）の実施場所として提供し、その機会を活用して子どもたちに火災予防、応急 手当等の講習会を行い消防の普及啓発を図りました。（参加生徒数12名）
3 児童虐待の防止（民生子ども課・保健予防課）	
◆なごやこどもサポート天白区代表者会議等の開催 ◆オレンジリボンキャンペーンの啓発 ◆子育てに悩む親向け講座の充実 ◆子育て講演会の開催 ◆親支援のためのグループミーティング ◆育児不安や困難感を抱えやすい保護者への支援 【指標】 児童虐待による重大な被害の根絶を目指します。 （平成29年度：0件）	・5月と11月の児童虐待防止推進月間（オレンジリボンキャンペーン）に合わせて、子育てに悩む親向けの講座として「コンセンサス・ペアレンティ ング講座」、「スター・ペアレンティング講座」及び「子育て講演会」を実施して養育支援に取り組みました。さらに、2月にも「スター・ペアレンティ ング講座」を実施しました。 ・これらの取り組みにより、子育て中の保護者の不安をやわらげ、児童虐待による重大な被害の発生を防ぐことができました。
4 青少年健全育成の推進（地域力推進室）	
◇青少年育成区民大会の実施 ◆青少年すこやか標語・ポスターの募集、展示 ◇青少年健全育成キャンペーン事業の実施 ◇青少年を対象とした啓発活動 ◇地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 【指標】 区内中学・高校に対するネット犯罪防止啓発キャンペーン実施数：3 校 （平成29年度：2校）	・青少年すこやか標語・ポスターを募集し、区役所（講堂、1F市民課・保険年金課ロビー）はじめ区内6か所にて作品を展示しました。今年度の 応募総数は1,381点と前年度の828点から500点以上増加しました。特に、標語の子ども部門の応募数が1,237点（前年度667点）と大幅に増加し ました。 ・2月20日の青少年区民大会において、2学区の特色ある青少年健全育成活動の報告と、『子どもたちの成長を促すコミュニケーション』をテー マに、青少年育成アドバイザーの丸山悟氏の講演会を開催しました。 ・八事東学区・表山学区と連携し、深夜帯の青少年への声かけ等の店舗への依頼や街頭啓発活動を実施しました。 ・区内中学校3校にて、夏休み直前の生徒にインターネットを介した犯罪事例を周知・注意喚起するキャンペーンを部会員等と実施しました。ま た、区内全中学生に注意喚起のチラシを配布しました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
5 障害者自立支援活動の推進（福祉課）	
◆障害者福祉に関する行事・研修会等の開催 ◆障害者の表現・制作活動の支援 ◆障害者の社会参加の促進 ◇障害者差別の解消 ◇障害者虐待の防止 【指標】 障害者福祉などに関する行事・研修会開催数：年7回 （平成29年度：6回）	障害福祉などに関する行事・研修会を8回開催しました。（福祉と映画の集い、研修会3回、顔のみえるアート展てんぱく2018、各種イベントのステージ企画参加3回） ・障害のある方が制作したアート作品の展覧会「顔のみえるアート展てんぱく2018」を名古屋市寿荘で4日間にわたり開催し、入場者数は528名でした。また、区役所や近隣商業施設においても出展作品を展示しました。 ・精神疾患に関する研修会（41名参加）、暮らしのサポートに関する研修会（46名）、防災に関する研修会（28名）を開催しました。 ・4月にくりあじかぼちゃの植え付け、7月に収穫を行いました。（8名参加）また、8月に八事五寸にんじんの植え付け、12月に収穫を行いました。（6名参加） ・障害者差別の解消について、相談があった場合には障害者差別相談センターと連携できるよう努めました。 ・障害者虐待の防止について、障害者基幹相談支援センター等関係機関と連携しながら障害者虐待の防止にかかる対応を行いました。
6 障害者授産活動の支援（福祉課）	
◆授産製品の販売活動の推進 ◇授産製品の活用とPR活動 【指標】 移動販売車「マーガレット号」による出張販売回数：年26回 （平成29年度：年26回）	・区役所1階「てんぱく情報ひろば」にて、「マーガレットマルシェ」の愛称で授産製品の販売支援を継続的にいました。販売実績は3事業所、売上計6,636,240円、前年比約6%増（前年度6,258,277円）である。平成30年度売上実績で16区中1位でした。 ・障害者自立支援連絡協議会が呼びかけを行い、区内の障害福祉事業所が参加し、授産製品の移動販売（出張マーガレットマルシェ）を実施しました。（34回） ・「天白区の『福』トコロ」を改訂し、イベント等で配布しました。（3,000部）

平成30年度の取組計画	取組の成果
7 高齢者が地域で安心して暮らすための支援 (福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・東部いきいき支援センター・西部いきいき支援センター・消防署)	
◇天白区地域包括ケアシステムの構築を推進 ◇在宅医療と介護の連携 ◇「わたしの応援ノート」サポーターの養成 ◇民生委員と専門職との連携 ◆みんなの元気フェスタinてんぱくの開催 ◇ひとり暮らし高齢者等の孤立防止支援 ◇高齢者世帯等への防火対策及び啓発 【指標】 みんなの元気フェスタinてんぱくの参加者数：1,000人 (平成29年度：960人)	・医師会や保健センターはじめ、地域の医療や介護等の関係者と連携を強化し、地域包括ケアを推進するための会議を開催しました。(2回、延べ69名参加) ・地域包括ケアの取り組みを周知する展示コーナーを区役所展示スペースに設置しました。(12月4日～1月18日) ・在宅医療・介護連携支援センターと連携し、区内の病院・診療所職員、介護職等による天白区在宅医療・介護連携会議や、多職種連携研修会、在宅医療・介護の普及・啓発事業を実施しました。(3回、延べ148名参加) ・「わたしの応援ノート」を地域の高齢者に説明できるサポーターを養成し、地域でノートを周知しました。(9名を養成、535名に周知) ・区独自の「つなぎシート」で、介護などのサービスを利用する方に関する情報を共有し、民生委員とケアマネジャーの連携を図った。(120件) ・新たに東海学園大学を実行委員に加えて「みんなの元気フェスタinてんぱく」を開催しました。(11月16日、17日 参加者1,013名)。 ・多職種による地域支援ネットワークを構築し、孤立しがちな高齢者の見守り支援を行いました。 ・見守り協力事業者や住宅供給公社等と「見守り連携会議」を開催しました。(2月6日、9機関) ・高齢者世帯等を訪問して防火指導を実施し、防火・防災についての啓発を行い、防災意識の高揚と火災予防・災害対策の普及を図りました。(45件)
8 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの推進 (福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・東部いきいき支援センター・西部いきいき支援センター)	
◆認知症高齢者支援事業の実施 ◇天白区認知症安心キャラクターを活用した広報 ◇天白区版認知症ケアパスの普及・啓発 ◇高齢者の権利擁護の支援 ◇認知症講演会等の実施 【指標】 認知症サポーターが参加する認知症カフェ：7か所 (平成29年度：6か所)	・「認知症カフェ」の設置を支援しました(合計16か所 内㊟新設3か所：植田北・原・天白学区)。うち、11か所でサポーターが参加しました。 ・認知症の方とご家族に向けて福祉サービスや施設などを紹介する「おれんじだより」を発行しました。(4号、3/10 計7,500部発行) ・認知症の早期発見のため、要介護者の状況に応じ適切なサービスの流れ等が記載された「天白版認知症ケアパス」を関係機関(区内40か所)に配架し、窓口相談時に活用しました。(13件) ・成年後見制度の利用相談を受け付けました。(7件) ・みんなの元気フェスタにて、認知症の講演会及び認知症をテーマとした落語を実施しました。(11月16日開催、291名参加)

平成30年度の実施計画	実施の成果
9 高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進 （福祉課・保健予防課・社会福祉協議会・東部いきいき支援センター・西部いきいき支援センター）	
◇高齢者の生きがいづくり ◇健康づくり(介護予防)の推進 ◇地域支えあい事業の推進 ◇てんぱくヘルスカレッジの開催 ◆てんぱく健康づくり隊の活動支援 【指標】 「てんぱく健康づくり隊」の活動拠点:3か所 （平成29年度:1か所(天白公園)）	・なごやかクラブ天白の各単位クラブ内で行われている友愛訪問活動において、高齢者の孤立を防止し、介護予防につながる多様な通いの場となるようサロンの運営を支援しました。(5か所) ・健康づくり(介護予防)を推進できるよう自立支援に役立つアドバイスを行うため、保健センターの専門職が地域の集いの場に参加し、講話等を行いました。(累計139回、延べ3,568名参加) ・地域住民の互助による、高齢者のちょっとした困りごとを支援するしくみへの取り組みを支援しました。(6学区) ・「てんぱくヘルスカレッジ」を開催し、認知症予防、栄養、口腔、運動等について周知しました。(44回開催、延べ1,874名参加) ・身近な場所で誰でも気軽に健康づくりができるよう、地域における高齢者の健康づくり活動を推進する「てんぱく健康づくり隊」の育成を図るため、4カ所の拠点を設けて勉強会や会議を開催しました。(登録者数:21名)
10 「てんてんプラン2014」（第3次地域福祉活動計画）の推進と次期計画の策定（社会福祉協議会）	
◆地域福祉活動の活性化 ◇ネットワークづくり ◇福祉環境づくり ◇第4次地域福祉活動計画の策定 【指標】 学区地域福祉活動計画の新規策定:1学区 （平成29年度時点:1学区(相生学区)）	・天白学区において地域福祉活動計画の策定を進め内容を固めましたが、年度内の策定には至りませんでした。今年度の早い時期には計画を策定できる見込みです。 ・地域での見守り活動を進めるための支えあいマップづくりを実施したエリアが37カ所になりました。 ・サロン数(認知症カフェを含める)が99カ所になりました。また、サロン運営者の交流会を開催し、運営方法などの情報交換を行いました。(参加者13名) ・前年度ボランティア講座受講者へのフォローアップ講座を開催(9名参加)し、認知症カフェへの参加につなげました。(参加者2名) ・元気フェスタでボランティア展を行い、ボランティア活動の啓発を行い、2名をボランティア登録につなげました。 ・地域における福祉課題に対応するため、平成31年度から5年間を計画期間とする第4次天白区地域福祉活動計画を策定しました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
11 健康づくり活動の推進（保健予防課）	
◆健康づくりセミナーの開催 ◇若い世代への健康教育、感染症予防の推進 ◇ロコモティブシンドローム予防教室の開催 ◇女性講座の開催 ◇ふれあい健康づくり事業の開催 ◇てんぱくヘルスカレッジの開催（再掲） ◇てんぱく健康づくり隊の活動支援（再掲） 【指標】 健康づくりセミナーの参加者：300人 （平成29年度：160人）	・天白文化小劇場で開催した健康づくりセミナーでは、210人が来場しました。目標（300名）の7割の来場者でしたが、来場者の9割以上の方が「満足できた・ほぼ満足できた」と回答されたほか、「健康づくりのきっかけとなった」と回答された方が8割を超えました。 ・若い世代への変更教育として、保健師が小中学校へ出向き「思春期セミナー」を実施しました。（16校） ・無料HIV等検査の実施を実施しました。（11回、113人参加） ・ロコモティブシンドローム予防教室（2日間コース）を実施しました。（計3回、のべ38組参加） ・女性講座として、乳がん自己触診法の体験と産婦人科医による講演を実施しました。（計2回、のべ20名参加） ・ふれあい健康づくり事業として、天白公園（区民まつり）にて、握力測定・ロコモ度テスト等を実施しました。（延べ764名参加 ※幼児から高齢者まで幅広い年齢層が参加）

めざすまちの姿 ③魅力に満ちた愛着のもてるまち

平成30年度の実施計画	取組の成果
1 町を美しくする活動の推進（地域力推進室）	
◇地域の緑の愛護活動の支援 ◆町を美しくする運動の実施 ◇地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 ◇学区開催の町美運動への支援 ◇地域協働による公共空間の美化と魅力づくり 【指標】 空地をきれいにする運動の適正管理率:85% (平成29年度:82.4%(102筆中84筆が適正管理済))	・クリーンキャンペーンは例年どおり多くの区民の皆様のご協力をいただき実施することができました。また、6月には、植田学区において「天白区クリーンウォーキング2018」を実施し、地域住民の他、区内大学や企業等からも多くの参加協力を得て清掃活動を行いました。 ・空地をきれいにする運動では約74%(96筆の内、71筆)の空地が適正管理となりました。 ・地域の方と一緒に、各種の町美運動を実施することができました。
2 ペットと暮らすきれいなまちづくり活動（健康安全課）	
◆ペットのマナー良し隊キャンペーンの実施 ◇猫の飼主への啓発 ◇なごやかキャット事業の推進 ◇犬猫の迷惑防止対策 【指標】 ペットのマナー良し隊キャンペーン実施学区数:5学区 (平成29年度:5学区)	・地域の皆様と協力してペットのマナー良し隊キャンペーンを5学区で実施し、382名の方に対してペットのマナー啓発を行いました。(延47名参加) ・なごやかキャットサポーターは昨年度より17人増えて65人となりました。
3 環境教育・環境学習（南東部公害対策担当（南区公害対策室）・環境事業所）	
◆環境保全講習会の実施 ◇環境デーなごや地域環境イベントの実施 ◇区民まつりでの啓発 ◆水辺の生き物観察教室の開催 【指標】 環境保全講習会及び水辺の生き物観察教室の参加者の満足度: 前年比増 (平成29年度:98.4%)	・環境保全講習会において、参加者へのアンケート調査の結果、100%の参加者の方から内容について「良かった」の回答をいただき、昨年度と同様に多くの参加者の方に満足していただくことができました。 ・環境デーなごや地域環境イベントとしてごみ分別ゲームを開催し、150名の方に参加いただき、ごみの分別について意識啓発を行いました。 ・区民まつりにおいてリサイクル工作教室(リモネンで手形づくり)を開催し、300名の方に参加いただき、リサイクルについて意識啓発を行いました。 ・平成30年度の「水辺の生き物観察教室の開催」は、猛暑のため中止となりました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
4 地産地消（「農」のある暮らし）の推進（総務課）	
◆区内朝市・直売所を巡る「地産地消スタンプラリー」の実施 ◇農産物品評会の実施 ◇農業まつりの実施 ◇「農」に関する情報を発信 ◇地元農産物の普及 【指標】 地産地消スタンプラリーの応募者数：前年比増 （平成29年度：210人）	・「地産地消スタンプラリー」を実施して、地産地消の推進に努めました。応募者数は135名でした。 ・「農産物品評会」では、区内在住農家より306点もの出品をいただき、その中から優秀な農産物を顕彰することによって農家の生産意欲の向上を図りました。同時開催した「農業まつり」では、新鮮朝市によって区民に天白の「農」の豊かさをお楽しみいただきました。 ・春から夏にかけて「くりあじかぼちゃ」を、夏から冬にかけて「八事五寸にんじん」を栽培し、成長の過程を来庁者にご覧いただき、収穫物を市及び区品評会に参考出展しました。
5 天白の魅力発信（自然・歴史）（地域力推進室・総務課・企画経理室・土木事務所）	
◆自然観察会等の実施 ◆史跡散策ウォーキング・史跡散策ガイドの実施 ◇歴史的・文化的史跡等の発信、発掘 ◇天白区にまつわる古写真活用事業 【指標】 事業の参加者アンケートでの満足度を高めます。 （「よかった」と回答した方の割合 平成29年度：「天白・自然とふれあい隊！」92.8% 「史跡散策ウォーキング」 96.4%）	「天白・もりのフォーラム」との協働事業として、天白・自然とふれあい隊！（自然観察会・自然体験会）を実施し、102人にご参加いただきました。参加者アンケートのうち、参加してよかったと回答した方の割合は100%でした。 「天白ガイドボランティア歴遊会」との協働事業として、史跡散策ウォーキングを春・秋の2回実施し46人の参加がありました。参加者アンケートのうち、参加してよかったと回答した方の割合は97.5%でした。 ＜天白歴史魅力発見！発掘事業＞ 平成28・29年度の2カ年に渡り、天白区より補助を受けて民間企業が実施した「区内の歴史的・文化的史跡、地域、豊かな自然を巡る天白区ツアー」の結果を10月28日の天白区区民まつりで発表しました。

平成30年度の実施計画	取組の成果
6 文化・スポーツの推進（地域力推進室）	
◇第6回てんぱく音楽祭の開催 ◇天白区美術展・華道展の開催 ◆スポーツ大会の開催 ◆てんぱく親子スポーツフェスタの開催 ◆子ども向け運動教室の開催 【指標】 区民アンケートで「スポーツ活動が盛んである」と感じている区民の割合：前年比増 （平成29年度：45.2%）	・5月に華道展（出瓶数49杯）、10月には華道展（出瓶数37杯）及び美術展（来場者数413名、出品数154点）を開催しました。なお、春の華道展では区民出瓶企画として生け花教室を実施し、6名の参加がありました。 ・1月のてんぱく音楽祭については、区内高校生や区内在住の演奏家などが出演するとともに、企画や広報等の面で名古屋芸術大学のノウハウを活用し、2日間にわたり開催しました。 ・区内小学生に多様なスポーツ種目を体験してもらう、てんぱく親子スポーツフェスタを2月に開催し、延べ636名の親子に参加いただきました。 ・区内においてソフトボール、バドミントン、グラウンド・ゴルフ、レク・インディアカ、女性レク・バレーなどのスポーツ大会を開催・支援しました。（21大会） ・平成30年度天白区区民アンケートにおいて、「スポーツ活動が盛んである」と感じている区民の割合は、46.2%（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合の合計）となり、平成29年度の45.2%より割合を高めることができました。
7 町内会加入促進への支援（地域力推進室）	
◆転入者への情報提供 ◆町内会加入促進への支援 ◆新築マンション等への加入支援 【指標】 町内会加入率：前回調査比増 （平成28年度：町内会加入率 58.5%）	・転入手続きの来庁者に対して町内会活動や加入手続きの案内資料を配布を行ったところ、かぼっちポスト等を通じて、29件の加入申込を受け付けました。 ・外部講師を招いてコミュニティ活性化に関する学区交流会を開催し、町内会加入促進について先進事例等を紹介しました。 ・住宅都市局の建築確認情報をもとにした新築共同住宅の情報を各町内会長へ提供することで、入居者に町内会加入の案内ができました。 【町内会加入率】 57.0%（平成30年4月1日時点）※2年ごとの調査

平成30年度の取組計画	取組の成果
8 地域活動・市民活動への支援（地域力推進室・生涯学習センター）	
◆区民まつり「まつり天白2018」の開催 ◆市民活動団体との連携 ◆「天白区を住みよくする会」の活動支援 【指標】 区民アンケートで「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合：前年比増（平成29年度：48.5%）	市民活動団体との協働でイベントを実施し、幅広い年代の方にご参加いただきました。また、「天白区を住みよくする会」の事務局として、行政に対する要望行動、中川村との交流事業部会の活動に関する支援を行いました。 ・「地域活動・市民活動が盛んである」と感じている区民の割合は50%となりました。 当初11回の開催を予定していたが、講師の事情で10回の開催となった。 参加人員は、延べ324名を数え、盛況であった。 平成31年度は、11回の開催を予定している。
9 区民に信頼される区役所づくり（総務課・健康安全課・市民課・保険年金課・企画経理室）	
◆来庁者の満足度の向上 ◆窓口混雑への対応 ◆留学生ワンストップ窓口・安心ガイダンスの実施 ◇区政運営方針の策定と進行管理 ◇区の将来ビジョンの策定 ◇区独自財源の確保 【指標】 窓口アンケートにおける「満足度」100%を目指します。 （平成29年度：99.1%）	・1年を通してフロアサービス員が記載案内等を行うことにより、お客様の証明や届出などに関する所要時間の短縮を図りました。 ・天白区のホームページに混雑予想スケジュールを通年で掲載するとともに、混雑時にはフェイスブックで混雑状況をお知らせして、混雑緩和の協力を呼びかけました。 ・待ち時間が1時間を超えるなど窓口が混雑したときに、その混雑状況やおおよその待ち時間を掲示してお客様にご案内しました。 ・お渡し窓口において機械音声でお客様を呼出すとともに、呼出番号をディスプレイに表示することで、より分かりやすい呼出しに努めました。 ・留学生の転入手続をワンストップ窓口で実施するとともに、手続きの待ち時間を活用して日本の交通ルールや防災、ごみの分別などの情報提供を行う暮らしの安心ガイダンスを開催しました。（2回計34名参加） ・職員を対象に、天白区の歴史についての研修、人権に関する研修、セクシャルマイノリティに対する理解を深めるためのLGBT研修、窓口での接客技術を向上させるための接客マナー研修を実施しました。 ・区役所窓口アンケートにおける満足度（「とても満足」「満足」の合計）は、96.5%となりました。（市全体97.1% 天白区前年度99.1%） ・平成30年度の区政運営方針を策定し、多くの方に見てもらうため、区役所内で配布・配架しました。また、区内コミセン等で配架しました。（概要版：約3,500部） ・区の将来ビジョンの策定に向け、区民会議分科会において市民ニーズの視点から施策とニーズについて話し合いました（29名参加） ・区まちづくり基金への寄附を受領しました。（5件5,111,000円） ・寄附者に対して市長感謝状および区長感謝状を授与しました。（4件） ・平成29年度の区政運営方針掲載事業について取り組み実績を区ウェブサイトで公表しました。 ・自動販売機、マップ広告、広告付行政情報モニターを設置するなど、各種広告の掲出により区の自主財源を確保しました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
10 区民のニーズや地域課題の把握（企画経理室・総務課・地域力推進推進室）	
◇天白区区民会議の開催 ◆区民アンケートの実施 ◇明日への提案箱の活用 ◇地域課題やニーズを把握する学区担当制の実施 ◇地域課題を検証する「みんなでまち歩き」の実施 ◇高坂学区地域コミュニティ活性化プロジェクトにおける地域課題解決の取組みの検証 【指標】 区民アンケートの回答率：前年比増（平成29年度：42.5%）	・来庁者からの提案や意見を受けて、より良い区役所、区民サービスに繋がるよう取組みました。 ・部課長級職員と地域力推進室を始めとする各課職員が2名ずつ各学区の担当となり、会議や夏まつり等の行事、交通安全活動などに参加し、地域の課題やニーズ等の情報の収集をしました。 ・防犯パトロールや町内清掃等の地域活動の機会に、地域住民の方たちと一緒に現地を見て歩きながら、地域の状況や課題を皆さんの声から集めました。 ・無作為抽出による18歳以上の男女1,000人を対象とした区民アンケートを実施しましたが、回答率は42.5%から39.8%へと低下しました。 ・区民会議において総会を2回、分科会を1回開催し、区の施策や市民ニーズについて参加者同士で話し合ってもらい、その意見を聴取しました。
11 区政に関する広報・情報提供（地域力推進室、企画経理室）	
◆広報なごや区版の発行 ◆その他メディアによる情報提供 ◆行政情報モニターの設置 【指標】 区民アンケートで「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合：前年比増（平成29年度：32.2%）	広報なごや区版では、特集記事として「環境デーなごや2018(5月)」「かぼっち誕生4周年(7月)」「天白区区民まつり(10月)」など、時期に応じた情報や啓発記事を掲載しました。フェイスブックではイベント情報などを発信し、その他のメディアへの情報提供にも努めました。 ・「行政の情報が必要な人に分かりやすく提供されている」と感じている区民の割合は37.5%となりました。 ・区役所1階の待合スペースに設置した3台のモニターにより、イベント・講座の参加者募集や保健センターにおける子育て総合相談窓口等の区政情報を提供しました。
12 天白区のPR活動（地域力推進室・企画経理室・市民課・民生子ども課）	
◆天白区のPR活動の推進 ◆マスコットキャラクター「かぼっち」の認知度の向上 ◆マスコットキャラクター「かぼっち」によるイベント案内 ◆新入学児童に対する「かぼっち」反射材キーホルダーの配付 【指標】 区民アンケートで「かぼっち」を知っている・名前を聞いたことがあるという区民の割合：50.0%（平成29年度：40.9%）	・区内17学区の新入学児童、1500名に「かぼっち」のついている反射材を配布しました。（再掲） ・交通・防犯キャンペーンや区主催行事に「かぼっち」が参加するとともに、学区や地元企業のイベント等に貸し出しをしました。 ・人生の節目となる出来事が印象深いものとなるよう、「かぼっち」等をデザインした「オリジナル婚姻届」と「オリジナル出生届」を作成し、皆様にご利用いただきました。 ・人生の大切な記念となる日が思い出に残るよう、記念撮影用の「かぼっち」等をデザインした「メモリアルボード」を設置し、皆様にご利用いただきました。 ・「オリジナル名刺」（表面に区のキャッチフレーズロゴ、裏面にかぼっちと「写真で見る天白区」を印刷）を、区政協力委員、民生委員・児童委員、保健環境委員の方で希望される方に配付しました。 ・会議資料に区のキャッチフレーズロゴ及びかぼっちイラストを積極的に活用し、区のPRを行いました。 ・「かぼっち」を知っている・名前を聞いたことがあるという区民の割合は47.3%となりました。

平成30年度の取組計画	取組の成果
13 地域の大学との連携・協力（企画経理室・総務課）	
◇名城大学との連携・協力 ◇東海学園大学との連携・協力 ◆新たな連携・協力協定の締結 ◇若年層向け選挙啓発 ◇子どもに対する地域の取組み支援 ◇授産製品の販売活動の推進 ◇講習会等の協力（健康づくり、生涯学習等） ◇学生ボランティアの協力（クリーンウォーキング、区民まつり等） ◇留学生ワンストップ窓口の設置 【指標】 大学との連携・協力協定の新規締結：1件	・6月21日に豊田工業大学と新たに連携・協力協定を締結しました。 ・連携・協力協定に基づき、地域社会の発展に寄与する事業を推進しました。 ・東海学園大学の学園祭において選挙啓発を行いました。 ・若年層向け選挙啓発チラシを作成し、東海学園大学、名城大学及び豊田工業大学に配架していただきました。 ・2名の「天白区選挙サポーター」が2月に執行された愛知県知事選挙の投票事務に従事しました。
14 天白区セイロン瓜プロジェクト（企画経理室・総務課・地域力推進室・南東部公害対策担当（南区公害対策室））	
◆区内公共施設・学校における展開 ◇情報の発信 ◇名城大学との連携 【指標】 区内公共施設・学校等のセイロン瓜栽培数：20か所（平成29年度：20か所）	・区内公共施設や区役所でセイロン瓜の栽培を実施し、区民の方々に実際にご覧いただくことで周知を図りました。 ・区役所で収穫したセイロン瓜を正面玄関にてレシピとともに展示を行い、実際に区民に配布を行うことで、セイロン瓜の普及啓発を行いました。 ・区民まつりでは、セイロン瓜に関するクイズを実施し、たくさんの方にセイロン瓜を知っていただくことができました。 ・小学校2校において名城大学のクマーラ教授による特別授業を実施するとともに、3校でセイロン瓜による緑のカーテンづくりを行いました。 ・区役所で緑のカーテンづくりを進めるとともに、警察署、消防署、コミュニティセンターをはじめとする区内公共施設等14か所にセイロン瓜の苗を提供し、その育成支援を通じてセイロン瓜のPRを行いました。
15 公園の魅力づくり（土木事務所）	
◇細口池公園スイセン復活プロジェクトの推進 ◇天白公園の施設の更新・充実 ◇公園遊具の更新・充実 【指標】 区民アンケートで「公園は安心して利用できて緑が豊かなど魅力的である」と感じている区民の割合：70%（H30新設）	・細口池公園スイセン復活プロジェクトでは、22名、2団体より23万円余りの寄付をいただき、3,200球の球根を植付けました。（延べ66名参加） ・天白公園駐車場の有料化によって得られた駐車場利用料を活用し、デイキャンプ場の洗い場を更新しました。 ・高坂公園始め13公園で老朽化した遊具を更新しました。 ・区民アンケートにおいて「公園は安心して利用できて緑が豊かなど魅力的である」と感じている区民の割合が93.4%という結果を得ました。